

平成12年度病害虫発生予察 注意報第8号

平成12年8月18日
津軽地域病害虫防除所
南部地域病害虫防除所

斑点米カメムシ類発生多い 防除の徹底を！

病害虫名 斑点米カメムシ類
主にアカヒゲホソミドリカスミカメ
(旧称アカヒゲホソミドリメクラガメ)
作物名 水稻

- 1 発生地域 県内全域
2 発生時期 -
3 発生量 多い

4 注意報発令の根拠

- (1) 普及センターによる穂揃期散布後の水田内すくい取り調査では、アカヒゲホソミドリカスミカメがほとんどの地点で出穂期調査よりも減少したが、約3割の地点で依然としてすくい取られ(第1表)、そのうち11地点ではすくい取り虫数が増加していた。
(2) アカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯による成虫の誘殺数は前年より少なめだが平年より多い(第2表)。
(3) 農業試験場の作況田における籾の大きさが平年より小さいので、割れ籾が多くなる可能性があり、前年と同様に登熟中期～後期の加害が多くなると予想される。
(4) 8月12日から9月11日までの1か月予報では気温が高い見込みで、斑点米カメムシ類の活動に好適である。

5 防除対策

- (1) 発生が多い年の斑点米カメムシ類の防除は、穂揃期とその7～10日後の2回の薬剤散布が必須である。また、斑点米カメムシ類の加害はこれから本格的になるので、穂揃期散布後7～10日目の防除を行っていないところでは直ちに2回目の防除を行う。
(2) 前年に斑点米の発生が特に多かったほ場や、周辺にイタリアンライグラスやヒエなど発生源になるイネ科植物が多いほ場では2回目散布の7～10日後に3回目の防除を行う。
(3) 薬剤散布は水田のみならず、畦畔にも行う。
(4) これからの草刈りは、斑点米カメムシ類を水田に追い立てることになるので行わない。

第1表 斑点米カメムシ類の穂揃後すくい取り調査(普及センター)

地域	普及センター	調査 地点数	アカヒゲ発生 地点率	アカヒゲ		アカシ		オオケシラホシ	
				幼虫数	成虫数	幼虫数	成虫数	幼虫数	成虫数
津軽 97地点	青森	23	22%	0.0	2.0	-	-	-	-
	鯉ヶ沢	10	20%	0.0	2.0	-	-	-	-
	木造	14	0%	-	-	-	-	-	-
	弘前	4	50%	0.0	2.0	-	-	-	-
	黒石	5	60%	0.0	3.3	-	-	2.0	0.0
	平賀	5	40%	1.5	2.5	-	-	-	-
	五所川原	23	48%	0.9	6.1	-	-	0.0	1.8
	金木	13	15%	0.0	1.0	-	-	-	-
	平均		32%	0.5	3.8	-	-	0.4	1.4
南部 51地点	十和田	22	23%	0.0	2.0	-	-	0.0	1.0
	三沢	6	50%	0.0	2.7	-	-	0.0	1.0
	野辺地	9	67%	0.0	3.2	0.0	1.0	-	-
	むつ	10	10%	0.0	2.0	0.0	1.3	-	-
	八戸	2	0%	-	-	-	-	-	-
	三戸	2	0%	-	-	-	-	-	-
	平均		25%	0.0	2.6	0.0	1.3	0.0	1.0
県平均（148地点）			28%	0.3	3.4	0.0	1.3	0.3	1.3

注)虫数は発生地点のみの平均

第2表 予察灯へのアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺状況

地点名 月 半旬	黒石			青森			木造			鶴田			十和田			八戸		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
6 1	0	2	0.6	0	0	0	4	60	7.7	0	1	0.4	0	2	0.4	0	1	0.1
2	1	0	0.2	0	0	1.0	17	0	5.0	0	0	1.2	0	0	2.2	0	0	0
3	3	8	1.1	2	3	0.6	25	69	12.9	1	6	1.6	2	9	3.5	0	2	0.3
4	4	0	0.6	0	0	0.7	26	2	6.0	4	0	2.5	37	0	0.7	5	0	0.1
5	3	0	0.6	3	2	1.8	8	13	9.8	0	1	3.6	5	0	0.7	(0)	0	0.2
6	3	0	1.1	(0)	2	1.2	8	0	13.5	3	1	6.3	0	0	0.9	(0)	0	0.1
7 1	7	4	4.9	(1)	0	2.9	54	4	28.0	(10)	0	1.1	2	1	11.4	0	0	2.2
2	20	9	9.3	1	1	4.5	13	0	61.4	21	1	7.7	2	1	7.1	0	0	1.4
3	90	50	14.6	28	11	6.3	523	46	40.9	31	17	12.9	18	39	49.9	19	4	2.9
4	31	129	22.4	12	18	12.2	(24)	675	121.7	10	51	23.1	24	52	35.8	29	21	12.7
5	14	123	30.0	13	52	26.6	840	1186	224.3	53	120	48.1	141	127	53.4	56	68	26.0
6	42	30	16.8	15	43	12.3	157	727	132.2	47	62	25.2	(28)	87	40.5	1	34	20.1
8 1	35		8.0	19	10	4.7	200	168	29.7	35	36	10.8	17	63	19.0	4	22	18.1
2	41		7.9	0	12	3.9	80	76	12.3	14	48	15.2	9	74	11.5	5	6	4.0
3	4	56	13.8	2	6	3.6	27	0	7.8	(2)	6	12.6	7	43	11.2	0	9	7.6
4		95	13.4		10	6.2		37	16.0		13	5.2		74	15.5		14	4.6
5		84	13.4		2	3.2		9	14.1		3	5.7		37	12.2		7	2.1
6		54	6.4		4	3.3		5	4.4		7	9.1		13	9.7		11	7.0

注：（ ）の数字は欠測を含む。

第3表 斑点米カメムシ類の防除薬剤

農薬名	使用時期	使用回数	備考
アドマイヤー粉剤DL	収穫21日前まで	3（本田2）	蚕毒
エルサン粉剤 2 DL	“ 7 “	3	
エルサン粉剤 3 DL	“ 7 “	3	
スミチオン粉剤 2 DL	“ 14 “	5（本田4）	休耕田
スミチオン粉剤 3 DL	“ 14 “	5（本田4）	休耕田
トレボン粉剤DL	“ 7 “	3	蚕毒
バイジット粉剤 2 DL	“ 21 “	2	
ベストガード粉剤DL	“ 14 “	4	
ランガード粉剤DL	“ 14 “	3	
MR.ジョーカー粉剤DL	“ 7 “	2	蚕毒・休耕田
エルサン乳剤	“ 7 “	3	
スミチオン乳剤	“ 21 “	5（本田4）	休耕田
ディブテレックス乳剤	“ 14 “	4	
トレボン乳剤	“ 21 “	3	蚕毒
トレボンEW	“ 21 “	3	蚕毒
パプチオン乳剤	“ 7 “	3	
MR.ジョーカーEW	“ 14 “	2	蚕毒・休耕田
チェス水和剤	“ 14 “	2	
トレボン水和剤	“ 21 “	3	蚕毒
トレボンMC	“ 21 “	3	蚕毒

注）蚕毒：蚕毒が強いので注意する。

休耕田：休耕田の斑点米カメムシ類に登録がある。